

エネルギー消費性能計算プログラム (Ver.3.3β) における更新の内容

旧バージョン (Ver.3.2) からの変更点は、次の通りです。

● β2→β3 (令和4年8月25日) ●

<全般>

1. 2022年10月に施行される新しい建築物エネルギー消費性能誘導基準 (建築物省エネ法)、建築物の低炭素化誘導基準 (エコまち法) に対応するため、「一次エネルギー消費量計算結果」(PDF) を更新しました。

<暖房>

2. 主たる居室の暖房設備機器または放熱器の種類「温水床暖房 (ルームエアコンディショナーの併用)」を「温水床暖房 (併用運転に対応)」に変更しました。
3. 主たる居室の暖房設備機器または放熱器の種類で「温水床暖房 (併用運転に対応)」を選択した場合に、選択可能な温水暖房用熱源機の種類に「電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機 (暖房部：ガス | 給湯部：電気ヒートポンプ・ガス)」を追加しました。

以上

● $\beta 1 \rightarrow \beta 2$ (令和4年8月5日) ●

<全般>

4. 2022年10月に施行される新しい建築物エネルギー消費性能誘導基準(建築物省エネ法)、建築物の低炭素化誘導基準(エコまち法)に対応するため、以下の更新を行いました。
 - 「基準一次エネルギー消費量」の計算方法を更新しました。
 - Web インタフェースの計算結果画面の出力項目を更新しました。

以上

●β1（令和4年7月20日）●

<外皮>

5. 外皮性能の評価方法において、「当該住戸の外皮面積を用いず外皮性能を評価する（ここで計算）」を選択した場合、以下の入力項目が追加されました。
 - 住戸の種類において、「床断熱住戸」または「床断熱住戸と基礎断熱住戸の併用」を選択した場合、「その他の床の温度差係数」の入力項目が追加されました。
 - 住戸の種類において「床断熱住戸」または「床断熱住戸と基礎断熱住戸の併用」を選択し、かつ浴室の断熱構造において「床断熱」を選択した場合、「浴室の床の温度差係数」の入力項目が追加されました。

<暖房>

6. 主たる居室の暖房設備機器または放熱器の種類に、「温水床暖房（ルームエアコンディショナーの併用）」が追加されました。

以上

日よけ効果係数算出ツール (Ver.3.3 β) における更新の内容

旧バージョン (Ver.3.2) からの変更点は、次の通りです。

● $\beta 1 \rightarrow \beta 2$ (令和 4 年 8 月 25 日) ●

1. 日よけの形状の選択肢および寸法の入力方法の変更

- Web インタフェースのレイアウトの一部を変更しました。
- $x1$ 、 $x3$ の寸法を入力する際に「入力しない (規定値を用いる)」及び $y1$ の寸法を入力する際に「入力しない (4m 以上の場合)」を選択した場合の PDF 出力を変更しました。

以上

●β1（令和4年7月20日）●

2. 日よけの日射遮蔽効果の評価ルールの変更に伴い、日よけの形状の選択肢および寸法の入力方法を変更しました。
 - 日よけの形状を3パターンから選択していたものを、サイドフィンの評価の有無を選択するように変更しました。
 - x1、x3の寸法を入力する際に「入力しない（規定値を用いる）」が選択できるようになりました。
 - サイドフィンを評価する場合、y1の寸法を入力する際に「入力しない（4m以上の場合）」が選択できるようになりました。
 - Webインタフェースのレイアウトの一部および説明図の変更を行いました。

以上